



明るく 華やかに

6月1日～6日までの6日間、役場住民課前の町民室において、役場職員盆栽愛好会によりさつきが展示され、窓口がたいへん明るくなったと好評です。

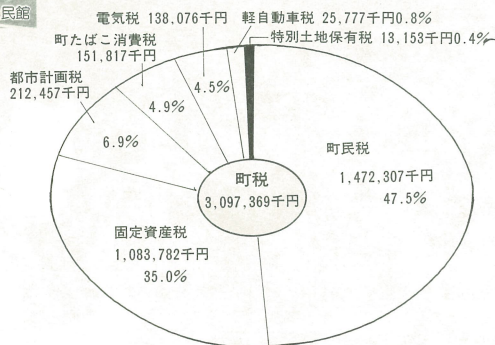
この展示会は、窓口を訪れる町民の皆さんに少しでも楽しんでもらおうと毎年行われているもので、会員が、日頃、丹精をこめて育てたさつきを持ち寄り、窓口のイメージアップと審査会により会員相互の親睦が図られています。

(写真は役場町民室で行われたさつきの展示会)

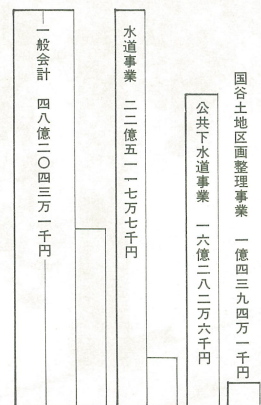
3月に完成した
稲葉地区公民館

町の台所

町税（収入済額）の内訳



町債現在高

町民一人当たり負担額
71,700円

町民税	29,124円
固定資産税	28,626円
たばこ消費税	4,010円
電気税	3,647円
都市計画税	5,612円
軽自動車税	681円

一世帯当たり負担額
252,070円

町民税	102,389円
固定資産税	100,639円
たばこ消費税	14,097円
電気税	12,822円
都市計画税	19,729円
軽自動車税	2,394円

※町民税のうち法人町民税を除く

水道事業

資本的収支	収益的収支
予算額 17,470千円	予算額 386,310千円
収入済額 17,470千円	収入済額 377,464千円
支出済額 93,089千円	支出済額 369,557千円

※資本的収支の収入済額が支出済額に不足する額は当年度・過年度分損益勘定留保資金及び建設改良積立金で補てんしました。

奨学資金

予算額 1,807千円	収入済額 1,988千円
支出済額 1,552千円	

国谷土地区画整理事業

予算額 142,482千円	収入済額 69,857千円
支出済額 83,711千円	

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

財政状況の公表

昭和61年度下半期…昭和62年3月31日現在

はこのように

一般会計

歳入

科目	予算額 (千円)	収入済額 (千円)	予算額に対する収入率 (%)
町税	3,174,108	3,097,369	97.6
地方譲与税	96,000	96,387	100.4
娯楽施設利用税交付金	42,000	41,788	99.5
自動車取得税交付金	90,000	105,907	117.7
地方交付税	1,033,473	1,059,325	102.5
交通安全対策特別交付金	5,000	5,032	100.6
分担金及び負担金	57,362	57,288	99.9
使用料及び手数料	76,752	79,065	103.0
国庫支出金	314,846	241,811	76.8
県支出金	228,668	209,627	91.7
県産収入	56,891	55,992	98.4
寄附金	1		
繰入金	164,972	120,350	73.0
繰越金	665,296	665,296	100.0
諸収入	173,214	195,897	113.1
町債	352,800		
歳入合計	6,531,383	6,031,134	92.3

歳出

科目	予算額 (千円)	支出済額 (千円)	執行率 (%)
議会費	112,936	111,005	98.3
総務費	1,186,548	697,447	58.8
民生費	447,537	422,635	94.4
衛生費	423,282	350,531	82.8
労働費	18,749	16,960	90.5
農林水産業費	325,969	183,098	56.2
商工費	107,745	96,051	89.1
土木費	1,116,211	682,018	61.1
消防費	260,171	249,163	95.8
教育費	1,954,388	1,474,691	75.5
災害復旧費	8,195	2,080	25.4
公債費	558,726	543,617	97.3
諸支出金	3		
予備費	10,923		
歳出合計	6,531,383	4,829,296	73.9

一般会計

昭和六十一年度の一般会計当初予算は、五億一五〇〇万円でしたが、七回の補正予算を組み当初予算に比べて一四・三％増の六億三三三万三千円となりました。

昭和六十二年三月三十一日現在の収入済額は、六〇億三三三万四千円で歳入予算額の九二・三％に当ります。一方、支出済額は四八億九二九万六千円で、予算額に対して七三・九％となっています。その他詳細については表のとおりです。

公共下水道事業

予算額 995,353千円	収入済額 462,164千円
支出済額 687,086千円	

※収支の不足額は、一般会計から運用しました。

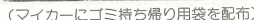
老人保健事業

予算額 1,026,101千円	収入済額 912,151千円
支出済額 889,414千円	

国民健康保険

予算額 1,561,380千円	収入済額 1,367,945千円
支出済額 1,254,525千円	

特別会計



(一人当たり年間消費量100個以上)

この統一美化キャンペーンは、増え続ける空き缶の投げ捨てを防ぐため、関東一都九県が、市町村や地域住民の協力により、空き缶一掃運動を展開しているものです。

この日は、自治会（三十七自治会）、ロータリークラブ、ライオンズクラブ、商工会、婦人会

空き缶を捨てずにきれいな町
 にと、関東統一美化キャンペーン
 ンが五月三十一日に行われ、本
 町でも各自治会や各種団体の協
 力を得て、国道および県道の中
 心に空き缶拾いや通行車にゴミ
 持ち帰り用袋の配布を実施しま
 した。

四日、午後、女性ドライバー、
ら、漁業組合主生支店、町職
員の等三団体四、四〇〇人
が参加して、午前八時から五班
に分かれ、ビニールを片手に
空き缶拾いに汗を流し、
その結果、一日だけで、空
き缶二、六〇〇個、二〇二
五、二五五の計四、五二
五個が回収された。
近年、道路や観光地では、空
き缶の投捨てが大変多く、自
然や生活環境の美観を著しく損
うている。現在、全国での飲
料缶の消費量は、年間約二、
億個と推定され、国民一人当
たり年間一〇〇個以上の缶ジュ
ース等を飲んでいる計算となり
ますが、このうち、投げ捨てな
りによる散乱した缶は、年間消
費量の約割十二億個と推
定されています。
個人にとりては、何気ない投
け捨てでも、全体でみれば大変な
量になっていきます。
この統廃美キャンペーンを
契機にして、空き缶は投げ捨て
ないで持ち帰し、という美を
町民一人ひとりが心がけて、美
しい町づくりのためにぜひ協力
してください。

壬生町民憲章 1. 思いやりに満ちた心であたたかい社会をつくります



茂った雑草を刈り取ったり、
げ捨てられた空き缶やゴミな
どを拾い集めるなど、国道周辺
環境美化に汗を流しました。



じて利用できる公民館は、主に地域の生涯教育学習センターとしての役割担っているといえるでしょう。

○町ではどんな活動を教育委員会の管理となつていて公民館は、中央公民館、稲葉南大阿地区公民館があり、各種の事業を行つております。住民の皆さんが、新しい知識や技術を身につけ、豊かな生活を送る

現在の公民館は、自治会の公民館を除いて、市町村が設置し、教育委員会が管理する社会教育施設なのです。住民の皆さんが気軽に立ち寄って、情報を交換したり、グループやサークルの会合に利用したり、公民館主催の学級・講座・講演会等を受講することが出来ます。

このように、自分の好みに応

それでは、どのように利用していったら良いのかを、皆さんと考えてみましょう。

○公民館活動とは

ていまず

公民館をご利用ください

生涯学習の拠点



ことができるという、いろいろな学級・講座、研修会を開設している。又、皆さんの、自主的な活動を奨め、皆入る体制も整っており、学習・文化・スポーツなどのクラブ等が、研修の場として公民館を利用することができます。

この場合、場所を借りられるというだけでなく、グループ活動を進めてくうえでいろいろな相談にも応じています。

例えば

- 指導者の斡旋
- 適切な教材の紹介
- グループ活動のあり方

などの助言もしています。

(料理講座)



間時を有効に使うために、自分達の手で計画し、公民館で活動しているのです。

また、公民館は、地域の人々たちのくらしや生活環境を良くするための各種団体と深くかかわり、あいをもつています。同時に、地域の人の意識を高めるために、これらの団体のわが心的な場所となっています。

公民館は、多くの人達に利用されることにより、一層充実にいくと考えております。

そして、皆さんのために、さまざまな学習援助サービスを行っている「生涯学習の拠点」として、大いに利用していただくべきものです。

申込み先
中込 先生

壬生中央公民館	☎0108
稲葉地区公民館	☎1002
南大洞地区公民館	☎031

直接申込みください。

休館日
毎週月曜日

利用時間
午前八時三〇分～午後九時十五分

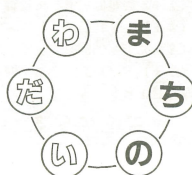
使用にあたって
きまりを必ず守ってください。

また、会場の準備から後片付けなどは、使用した方に、自主的に、行っただきます。

皆さんの公民館ですから、来た時よりも美しく、大切にしましょう。



(遺跡現地学習)



活力ある農業をめざして

下稲葉農場集団 代表田辺正成
は、この経営調整施設が完成しては、五月九日に多くの関係者を集め、竣工式が行われました。これは、昭和四十一年度の国庫補助を要入し、共同作業場による労力の軽減で、さらなる荷休体制の整備などを目的で造られたものです。この施作の完成により、営農集めでは、米麦作の共同一貫作業農家のばら出向と、同時に推進してきたいと話していました。



独身女性が農作業を肌で体験

日頃、農業とは縁遠い幼少女性に「農業体験」を勧めて、農業の良さを女性に知ってもらおうと、5月16日、町農業委員会の主催で、うち2組が参加されました。参加したのは、グンゼ㈱と協働に勤める幼少女性44人で、上桶原の荒川田（上町）さん方のビニールハウスの中、イチゴ畑で、イチゴの摘み取りを体験しました。

高温になつて、イチゴの中で、「あつーいよ」と言ながらも、時間の経つのも忘れ箱いっぱいになるまで、楽しみながイチゴ摘みをしました。

お昼からは、東雲児童公園で、バーベキューを行いました。そこは、町の農業後継者や4月7日の「食の安全の日」に親類を招き、4日間の農作業の一日に体験しました。

主催者は「この体験を通して、少しでも農業の良さを知ってもらえれば」と期待して



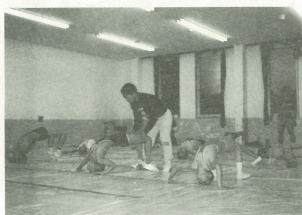
木下警察署、交通安全協会を主催する。生地区及び町
老人グループ大会が5月12日、田中町跡地にあるあい広場のゲートボール場において行われました。
これは、最近お年寄りによる交通事故が多発し、少しでも交通ルールを認識してもらおうと実施されたものです。
当日は、木下警察署の中野交通課長の講話や警察官6人が、加わっての対抗試合も行われ、ゲートボールを通じて、参加した28チームの老人クラブとのコミュニケーション意義をもたせ、関係者は、たいへん有意義な一日でしたと、喜んでいました。



町民のひろば

「町民のひろば」はみんなで作るページです。「まちのわだい」は身近な二
ユースやてきことを、「われら仲間たち」は、スポーツや芸術などのサークル
を紹介しますので、掲載を希望される方は企画課広報統計係へご一報ください

われら
仲間たち
壬生チビッコ
レスリングクラブ



レスリングと子供達

9 広報

子供達にレスリングを「素晴らしい」と教えた。そう考えた六十年十からちビッド・レスリング教室が、始めました。以後毎週金曜日、練習を重ね、最近では子供達もどこから見ても立派なレスラーに育てて来ました。会員数は約三〇名。この間、県内外への遠征試合にも参加し、レスリングを通じていろいろな経験を重ね、一人ひとりがそれぞれに成長して行く様子がはなはだうかがわれます。昨年十月には、壬生イオンスクラブの主催により、第一回壬生町・レスリング大会が行なわれ、また、本年

備も充実とし、御協力により、練習施設は町内局の御協力により、練習設備として、広く根をおろそうとしております。最近の少年スポーツをとりまぐ環境により、ややもすると成績優先の兆候がありますが、レスリングを通じて、基礎体力の増進と、仲間意識、高揚などを第一目標とし、子供達との対話を重し、指導しております。幼児から中学生まで男女を問わねだれでも入会できます。入会費・習者は（八四七三）までお電話で。

壬生ビッド・レスリング教室
代表 定田周二

代表 足田周二

商店街に

フラワーボックス設置



題
な
っ
て
い
ま
す。



（足銀前のフラワーボックス）

ボ
ッ
ク
ス
か
お
目
見
え
し、
町
の
話

運動会



壬生北小 六年 佐藤充代

壬生レツドが優勝

第八回学童野球大会



前年度ふれあい商店街会員有志13人で組織化された「ふれあい商店街近代化研究会」が、商店街と協力し、設置したものです。同研究会は、活性化のための諸事業をいろいろ実施しており、フラワーボックス設置もその一環として設置されたものです。商店主をはじめ、お客さんからも評判はよく、商店街の活性化に一役かっています。

（四日十九日、五月三日の三日間にわたり、十五人が参加し、町総合運動場で行われました。）

決勝戦は、王生レッドと王生東クラブの間で行われ四対二で王生レッドが優勝しました。

（レッドチーム）



会の二週間前でした。あまりにも短い期間での運動会の練習でした。それに今年は最上級生なので、係にもつかななくてはならない年でした。私は、この運動会を去年までするようにすばらしい運動会にしようと思いました。係の分担をし、それぞれの先生方におそわり、それを一生懸命に実行しました。練習ができなく、ぬかした目もありましたが、どの学年も一生懸命に練習しました。そして、五月二十一日の運動会の日になりました。入学したばかりの一年生も、おどりを覚えて楽しそうにおどっていました。季節はもうけつて、みなさんがんばってすばらしい運動会ができたと思います。私達各係も、少し不十分な点もありましたが、精一杯つたつもりです。それに、この運動会では、小学最後の運動会なので、いつもはちがう印象でした。思い出さぬ校舎、六年間の最後の運動会。考えてみるに何もかもなごおしい気持ちでした。校舎新築のため、春にこの運動会は、私にとって忘れられない思い出になりました。

短歌

王生田文化協會文芸部 謹



つづれに大正琴を持ち出して てみたり若き日の曲	佐藤 キミ
き日の潮来みやげの花あや が家の庭を紫に染む	渡辺 ソメ
は客数なく増え五反余の転 田に何をつくらむ	篠原 マサ
まつの林は新芽吹き初めて す湖の透きて光れり	鈴木 佳世子

俳句

太陽を握 ^{にぎ} ねまはしつて代を掻く	宇井 秋汀
里若葉雷電さまの轍立つ	築川 綾子
腰伸ばし鋏の柄に佇 ^ち つ柿葉葉	渡辺 寅八
菜の花やほろびしものに童唄	鈴木 茂弥

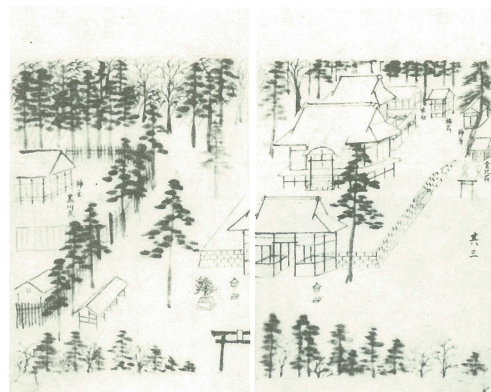
町史編さん だより

70

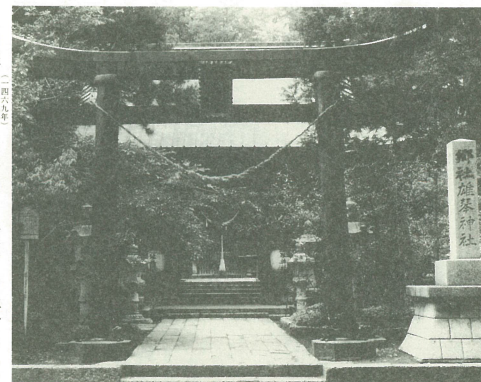
目で見える町内史跡

第四回 雄琴神社

当神社の主祭神は、天照大神、天武天皇、舎人親王で、寛治五年鎮守府将軍清原武則の三男保定が、その祖舎人親王を祀る社を創建したのにはじまると伝えられ、社名を藤森神社と言いました。



壬生領史略の雄琴神社（江戸時代）

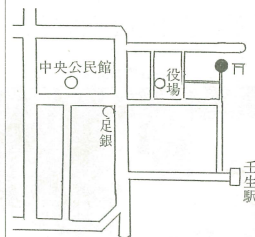


現在の雄琴神社

その後、文明元年に壬生氏初代院後守胤業が、近江に鎮座する雄琴神社の祭神小槻今雄（壬生氏祖）の分霊を合祀し、社名を雄琴神社に改めたと言われています。また、明治維新の際、神職黒川豊磨等は利鎌隊を編成し活躍しました。例大祭は十月二十九日、十一月二十九日の新嘗祭には神輿の出御と稚児行列が行なわれ、

毎年多くの人で、にぎわいます。

○みちあんない○



雄琴神社
壬生町通町18-58
☎82-0430

七月の納税

固定資産税	都市計画税	国民健康保険税
二期分	二期分	一期分
納期限七月三十一日		

まちのうごき

	6月1日現在
総人口	38,221人 (+5)
男	18,990人 (+3)
女	19,231人 (+2)
世帯数	10,819世帯 (+7)
	()内は前月比